



## 市長の施政方針について

戸塚正人(民主・社民・ネット)  
案して、施設整備を行っていきたく考えています。

問 待機児童対策について、これ迄の計画・検証として、地域間の待機児童数の格差が生じている。今後、地域間待機児童格差を解消できる様に戦略の見直しをするべきだが、どうか。

子ども生活部長 ニーズの高い地域、それから緊急度の高い地域。保育の必要性の高い地域、それと既存施設の増築計画、そういったものを勘



## モノレール延伸の促進を願って

吉田つとむ(志政クラブ)

問 多摩都市モノレール町田方面延伸協議会の運営のうちに、議長のみを委員として参加する例は全国にあるか。

政策経営部長 日本中ということで全部調べたわけではないが、今調べている中では確認はしていません。

問 町田市議の大半が町田延伸の促進を求めているが、市議の協議会参加役割の見直しは行なわないのか。



多摩都市モノレール



## 平和教育に欠落しているものは

大西宣也(自由 民主)

問 市では教育委員会も含め、各種の平和事業や教育を行っている。その目的は平和の大切さを教えているが、その大切な平和をどうやって守るという視点は全く欠落している。なぜか。

教育長 学習指導要領を基本にしなければならないので平和と国防を直接的に結びつけて展開することは難しいと考えています。社会教育の観点から考え方を提供していくことは可能だと思っています。

問 要綱は市民生活を守るはずだが逆に職員を保護する盾になっているのではないのか。



## 認可保育所増設で待機児童ゼロに

池川友一(日本共産党)

問 現行の計画よりも規模とスピードをあげて認可保育所を増やすべきだがどうか。

子ども生活部長 二〇年間期間限定認可保育所は改修型二園を予定していましたが変更して新築型一園、改修型一園で定員増図ったところであります。

建設部長 把握していません。近隣の商店、飲食店の関係、電気ケーブル等の関係があり、駅のすぐそばということとで今回この位置にしました。



## エコキャラクターで活性化を！

松岡みゆき(諸派)

問 エコキャラクター「ハスのん」で活性化と経済効果の取組と課題は何か。

広報担当部長 環境に関する取り組みをPRするためのエコキャラクターであるため、現在の市の活性化や経済効果を目的としています。

問 地域力で子供を守る為に江戸川区「おとなりさんボランティア」を参考にしたい。



## 団地の再生まちは

佐々木智子(日本共産党)

問 木曽山崎団地地区まじづくり検討会がまとめた団地再生の将来像とは何か。

政策経営部長 間もなく検討会の報告書がまとまる予定です。新しい魅力と人の和を生む町をまじづくりの将来像として検討しています。

問 虐待から子どもの命を守る子ども家庭支援センターの職員体制と虐待防止対策の充実を求めるがどうか。



## 相原駅周辺の街づくりについて

佐藤伸一郎(自由 民主)

問 相原駅周辺の街づくりは、都市計画道路の整備と併せて市が用途地域等の変更を含めて積極的に街づくりを推進する必要があると考えるが、どうか。

都市整備担当部長 用途地域の変更も含めたさまざまな手法による検討を進めていきます。



木曽山崎団地



## 市民の命、暮らし第一に転換を

殿村健一(日本共産党)

問 都市間競争に勝ち抜くための未来づくり研究所の設置や中心市街地大型開発は見直し、市民の命、暮らし第一に転換すべきだが、どうか。

政策経営部長 新たな賑わいの創出を目指し、ターミナル機能の強化、コンベンション施設の整備による文化機能の充実など、駅周辺の魅力を高める取組を行っています。

問 中学三年生までと七五歳以上の医療費を無料にするべきだが、どうか。



## 町田発東京のあり方を問う

友井和彦(諸派)

問 健全な財政運営は次世代に誇れる町田を創るために不可欠。各種基金減と市債残高増の傾向を是正すべき。

財務部長 健全かつ持続可能な行政運営を行うため、市債発行額を適正に管理し、創意工夫による経費節減、既存事業の見直しをより一層徹底していきます。

問 景観と災害対策を兼ねる電線共同溝の設置を国や都



## 公共交通不便地の早期改善を

おく栄一(公明党)

問 小野路・野津田地域など丘陵の多い公共交通不便地区に新たな交通手段を、即効性ある具体策を求める。

都市づくり部長 地域の特性や事情を把握し、交通便利の向上に向けた検討をしていきたいと考えています。

問 介護保険施設の安全確保について、市は今後どのような進め方をするのか。

傍聴を希望される方は市役所三階の

義塾と傍聴

本会議のインターネット放映を行っています。